

| | | |
|----------------------------|--|-----------------------|
| 開講科目名 / Course | 養護概論 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2024年度 / Academic Year 1 学期 / First | |
| 開講区分 / semester offered | 1 学期 / First | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 3 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 小野 治子 | |
| 担当教員名 / Instructor | 小野 治子 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 選択 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 授業回数 | 8 | |
| 科目の目的と概要 | 養護概論 で学んだ内容をもとに、具体的な養護活動の方法について学ぶ。子どもの健康課題解決に向けた養護教諭の役割や健康相談活動の支援のあり方について理解し、養護教諭が行う支援活動を実践できるスキルを養う。 | |
| 到達目標 | 1. 子どもを取り巻く健康課題の実態と課題について述べるができる。 2. 健康課題解決に向けた養護教諭の役割と養護活動を説明することができる。 3. これからの養護教諭に求められる資質・能力について自分の意見を述べるができる。 | |
| DPとの対応 | 1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力 | |
| 授業計画 | 01. 子どもの健康課題の変遷 02. 現代の子どもの課題の実態 03. 養護活動 : 健康課題の把握 (個別) 04. 養護活動 : 健康課題の把握 (集団) 05. 養護活動 : 健康相談活動・保健教育活動 06. 養護活動 : 保健組織活動 (地域との連携) 07. 養護活動 : 学校における健康危機管理 08. 養護教諭活動の実際 (養護教諭を迎えて) | |
| その他の授業の工夫 | 学生が主体的に考え、発言できる力を養うため、グループワークや発表、意見交換等のアクティブラーニングを実施する。授業中、適宜ハンドアウトを配布し、文部科学省から出されている最新の情報等を提供する。 | |
| 時間外学修 | 事前学修：事前課題を別途指定する。その課題を事前に学習する (10h)。 事後学修：配布資料やディスカッションを踏まえて復習する (12h)。 | |
| 評価方法と評価割合 | 定期試験：60%、平常点：20% (グループワークにおける貢献度、発表等の積極性)、各種提出物：20% (提出物の内容も評価に含む) | |
| テキスト | 新養護概説 < 第12版 > (少年写真新聞社) | |
| 参考書 | 新改定 学校保健実務必携 < 第5次改定版 > (第一法規) | |
| 履修する上で必要な要件 | 科目は、小学校、中学校、高等学校および支援学校で養護教諭として実務経験のある教員が講義を行う。 | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 小野治子：高等学校、特別支援学校の養護教諭 |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 小学校、中学校、高等学校の養護教諭 |
| 実務経験をいかした教育内容 | 本科目は、小学校、中学校、高等学校および支援学校で養護教諭として実務経験のある教員が講義を行う。 | |